

議事概要記録

開催日時	平成26年7月5日(土) 11:30 ~ 13:30	開催場所	かんぼの宿 紀伊田辺 2階会議室3
会議種別	平成26年度 第4回理事会	議長	竹中 正人
		書記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、田中 規仁、蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、久保 光史、神藤 洋次、石井 啓子、田原 靖子 勝山 浩樹、13名		
欠席者 <敬称略>	木下 博之、脇村 小津江、瀧口 良重、 村田 正吾、	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>会長報告</p> <p>第3回常務理事会報告</p> <p>事務局報告</p> <p>学術部報告</p> <p>経理部報告</p> <p>第36回和歌山県医学検査学会進捗報告</p> <p>表彰審査委員会報告</p> <p>各種委員会報告</p> <p>公益事業活動</p> <p>定款・渉外</p> <p>精度管理</p> <p>データ標準化</p> <p>会誌編集</p> <p>ホームページ</p> <p>会報</p> <p>月例行事予定表</p> <p>連盟</p> <p>病院協会学術大会 シンポジウム打ち合わせ会報告</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭、会長から挨拶があった。</p> <p>会長報告</p> <p>和臨技災害フォーラムへの日臨技役員派遣要請に対して、否決通知の連絡があったため、再度派遣要請依頼をした。</p> <p>前回理事会承認を経た2016年度の近畿支部医学学会開催県受諾について、近畿支部幹事会で正式に決定した。2016年度は日臨技医学検査学会が神戸でIFBLSと合同の9月開催になるため、6~7月開催で行う旨の理由書を、支部長を通じて日臨技に提出するとのことであった。</p> <p>県知事と病院協会会長並びにメディカルスタッフ団体との交流会について、医療行政に関わる(県庁の)部署としてメディカルスタッフ団体の意見を聞くことが重要視されていることが、知事の発言からよくわかったと報告があった。今後、年数回の開催を考えているとのことであった。</p>		

### 第3回常務理事会報告

第3回の常務理事会について、事務局より概要報告を行った（詳細は議事録を参照してください）。

なお、大石経理部長より、常務会での審議内容が口頭による概要報告だけでは分かり難いと指摘があり、次回より常務会資料も配信することとした。

### 事務局報告

5月31日の総会後に行った第3回理事会について議事録を新執行部の登記するにあたり添付する旨の報告をした。

災害フォーラム開催における日臨技役員派遣依頼に対する否決回答に再考を日臨技に要請した。

認定病理検査技師制度指定講習会についての推薦依頼が日臨技からあり、和医大の稲垣技師を推薦した。後日、参加者枠の増大（100→300人）通知があったため、引き続き鍵弥病理・細胞班長を推薦した。

臨床検査技師等に関する法律の一部改正が参議院本会議成立し、鼻腔粘膜採取が可能となった。

「検査と健康展」の検査専門医派遣について費用は日臨技と臨床検査振興協議会が負担と正式な通知があった。

### 学術部報告（竹中副会長代弁）

今日・明日と、第17回学術部一泊合同研修会が53名の参加で行われるとのことであった。

日臨技近畿支部学術部門員について、染色体・遺伝子部門は該当者なしと報告していたが、連絡要員としても必要であるとの白波瀬近畿支部学術担当幹事より申し入れがあったため、紀南病院の小山技師を推薦したとのことであった。

日臨技近畿支部微生物部門合同研修会について、口広微生物班長が講師として出席するとのことであった。

和歌山県医学検査学会企画運用ガイドが完成しつつあるとのことであった。企画書・予算書から始まり、実行委員委嘱状や公文書、学会開催概要、演題募集要項、座長・講師の委嘱状等々全ての運用マニュアルを作成したとのことであった。実運用と照らし合わせ、不具合等を修正していければとのことであった。

合同研修会について、全日参加・一部参加にかかわらず参加費一律同額について趣旨を問う質問があった。学術部としては、合同研修会は会員相互の交流を重視した宿泊研修会であることを重視しているため、ぜひとも全日参加を理解して頂きたいと回答があった。

### 経理部報告

第36回和歌山県医学検査学会用の通帳が出来たとのことであった。毎年持ち回りすることで、和臨技会計本体に返納する形がとれますのでよろしくお願いいたしますとのことであった。

## 第36回和歌山県医学検査学会進捗報告

畑学会長の元、テーマを「煌く～きらめく～」として、平成27年3月1日日曜、口演形式にて有田市の鮎茶屋で開催するとのことであった。

従来のランチョンセミナー時間帯については、1社あたり15分の企業プレゼン（仮称）を4社程度募集する旨の計画があることについて提案があり、承認された。

## 表彰審査委員会報告

表彰委員会規程の一部を変更した。また、学術奨励賞の基準に関する内規、新人賞の基準に関する内規、会長賞、学術奨励賞、新人賞の選考に関する内規について、明確に文書化した。

新人賞についての年齢制限について、学会発表時なのか否かの質問があった。基本的には発表時である。当初は入職後何年後・・・等も審議したが、調査が煩雑な事、生年月日が判断しやすいと言う事より年齢制限に至ったとの回答であった。

## 各種委員会報告

### 公益事業活動

公益のHIV/ピンクリボン/医療セミナーの3事業の実行委員が決定したと報告があった。HIVについて今年度も和大祭実行委員会から和歌山県に対し協力要請があり、昨年度と同様に取り組んでいくとのことであった。医療セミナーについて、検査展と合同で動きつつあるとのことであった。

### 定款・渉外

特になし

### 精度管理

今年度の精度管理事業（和臨技サーベイ）について、7月の行事予定表と同時に案内書と申込書を送付した。昨年度から継続審議されている外れ値報告施設に対し後日、是正報告書の記入と提出を求める一文を案内書に記載したと報告があった。また、提出が無き場合、参加証明書を発行しない意向については言及していないとのことであった。

外れ値についての根拠を、明確に説明しないと混乱を来す可能性があるのではと意見があった。委員会でさらに検討することとなった。

委員長から日本医師会サーベイのスケジュールと重なってしまったことについて、次年度から配慮しますとの申し出があった。

### データ標準化

6月末に基幹施設及び代表担当者の届出ならびに都道府県標準化委員会名簿の届出をしたとのことであった。

### 会誌編集

和歌山県臨床検査技師会「会誌和臨技」投稿規程（案）と、和歌山県臨床検査技師会「会誌和臨技」投稿要領（案）を作成したとのことであった。まず、会誌投稿

規程について必要か否かと会誌編集長より申し出があったが、異論等もなく承認された。本規程は和臨技各種規程に編入することとなった。

日臨技会誌投稿要領に則り、和臨技運営に見合った和臨技会誌投稿要領を作成した。同時に和歌山県臨床検査技師会「会誌和臨技」投稿表紙も作成した。これにより、会誌の体裁が整い見やすい会誌が出来上がるであろうとのことであった。

今年度は少し早い時期から会誌投稿の募集を開始し 11 月 30 日を締め切りとした。会員の学術調査も平成 26 年 12 月末締め切りで調査することとした。理事会で承認いただければ、和臨技ホームページに直ちに掲載したいとのことであり、承認された。

#### ホームページ

前回に引き続き、水口技師、並川技師、田中事務局と共に運営していくとの報告があった。会長の挨拶と新役員名簿を変更したとのことであった。新しいレイアウトの HP を作成中とのことであった。出来上がり次第、承認を得てから差し替えたいとのことであった。

#### 会報

特になし

#### 月例行事予定表

前回同様、広告申し込みは進捗なく 8 社のみとのことであった。今年度より行っている折り込み広告の配布申し込みも無いとのことであった。次年度に向けたあらたなサービスを模索していくとのことであった。

#### 連盟

技師連盟ホームページで、会員登録できるとのことであった。5/31 現在 加入数 21 人と非常に少ない状況とのことであった。施設内の加入者が把握しづらく、未加入者に対して趣旨を説明できないと意見があった。連盟支部長に名簿閲覧ができるように要請があった。

#### 病院協会学術大会 シンポジウムについて

共通テーマの医療安全について、シンポジウムの進め方を話し合ったとのことであった。また、各団体の専門業務内での医療安全についての趣旨と方向性について報告があり、当会も精度管理を中心に報告することを申し入れたとのことであった。

記録作成	平成 26 年 7 月 26 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 26 年 7 月 26 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可